

# 沖縄県立芸術大学附属研究所彙報

## I 研究業務状況

### (1)二部門以上共通

#### 1. 移動大学 [担当：芸術文化学部、伝統工芸部門、伝統芸能部門]

平成24年度沖縄県立芸術大学教育研究支援資金「移動大学を通じた地域貢献に関する研究」プロジェクトリーダー：柳悦州（附属研究所長）

##### a 「沖縄県立芸術大学の移動大学 in たらま」

2012年11月17日～19日

1. 織遊び教室 講師：柳 悦州、崎原 克友
2. 絵画教室 講師：平山 英樹
3. 粘土アニメ教室 講師：仲本 賢、又吉 浩
4. 沖縄の笛教室 講師：清村 まり子
5. 琉球舞踊教室 講師：上地 亜矢乃、金城 小百合
6. 三線教室 講師：池原 雅人、仲尾 勝成
7. 沖縄文化教室 講師：波照間 永吉
8. 琉球芸能公演 出演：本学非常勤講師2名（上地 亜矢乃、金城 小百合）、附属研究所共同研究員3名（清村 まり子、池原 雅人、仲尾 勝成）、本学賃金職員1名（原口 みなみ）、琉球芸能専攻学生13名（大濱 麻未、前田 博美、池原 翔、大嶺 英樹、金城 ことき、木村 有希、島尻 紀希、嘉数 幸雅、玉城 知世、嘉数 愛美、喜納 彩華、伊志嶺 梓、大湾 美香）

沖縄県立芸術大学事務スタッフ：比嘉 貴子、渡久地 雅代

参加人数 各教室受講者数：264名

琉球芸能公演観客数：211名

のべ参加人数：475名

## 2. タイ・ラオスの伝統文化研究

[担当：伝統工芸部門、伝統芸能部門]

## 3. 沖縄伝統文化研究資料の収集・データベース作成

[担当：芸術文化学部門、伝統工芸部門、伝統芸能部門]

## 4. 鎌倉新資料の調査、整理、記録、教育的活用研究

[担当：芸術文化学部門、伝統工芸部門、伝統芸能部門]

## (2)芸術文化学部門

### 1. 地域文化の調査研究

a 『おもろさうし』『琉球国由来記』の研究 [担当：波照間永吉教授]

b 波照間島の伝統文化の調査研究 [担当：波照間永吉教授・平良勝保調査員・西岡敏調査員・飯田泰彦調査員・照屋理調査員・鈴木耕太調査員・佐々木和子調査員]

### 2. 『鎌倉芳太郎資料集（ノート篇）』編集

### 3. 沖縄文化の比較文化論的研究 [担当：波平八郎助教授]

### 4. 沖縄県立芸術大学附属研究所公開講座 [担当：波照間永吉教授]

講座テーマ「沖縄文化の“美”の発見者たち」（総合教育「沖縄学」として  
開講期間・時間：2012年4月11日～7月18日（毎週水曜日）

午後7時～午後8時30分

第1回 4月11日 講義概要の説明（登録予定学生のため）

講師：波照間永吉（附属研究所教授） 受講人数：8名

第2回 4月18日 琉球芸能の大成＝玉城朝薫

講師：宜保栄治郎（国立劇場常務） 受講人数：99名

第3回 4月25日 琉球王国の美術者たち＝王府の絵師

講師：津波古 聡（沖縄県公文書館主幹） 受講人数：95名

第4回 5月2日 琉球王国の工芸者たち＝貝摺奉行所と漆芸

講師：安里 進（本学教授） 受講人数：93名

第5回 5月9日 琉球王国の工芸者たち＝陶芸家群像

講師：宮城篤正（前本学学長） 受講人数：97名

第6回 5月16日 王家の文化を伝える＝尚順と松山御殿の人々

- 講師：栗国恭子（大学非常勤講師） 受講人数：85名
- 第7回 5月23日  
琉球芸能の中興者 = 玉城盛重・真境名由康・真喜志康忠  
講師：大城學（琉球大学教授） 受講人数：86名
- 第8回 5月30日 沖縄文化の個性を求めて = 伊波普猷  
講師：田場由美雄（本学附属研究所共同研究員）  
受講人数：92名
- 第9回 6月6日 沖縄文化の個性を求めて = 末吉麦門冬  
講師：栗国恭子（大学非常勤講師） 受講人数：83名
- 第10回 6月13日 琉球音楽研究の基礎を築く = 山内盛彬  
講師：三島わかな（大学非常勤講師） 受講人数：81名
- 第11回 6月20日 琉球芸術の美を求めて = 鎌倉芳太郎  
講師：波照間永吉（附属研究所教授） 受講人数：97名
- 第12回 6月27日 沖縄の民芸の発見 = 柳 宗悦と民芸協会の人々  
講師：久貝典子（本学附属研究所共同研究員） 受講人数：82名
- 第13回 7月4日 近代沖縄の作家たち  
講師：仲程昌徳（前琉球大学教授） 受講人数：80名
- 第14回 7月11日 現代沖縄を表現する  
講師：又吉栄喜（作家） 受講人数：83名
- 第15回 7月18日 沖縄、島々の個性 = 「新南島風土記」の彼方  
講師：高良 勉（詩人） 受講人数：80名
- 合計延べ人数1,241名

公開講座は第2回より

6. おもろ研究会（平山良明代表）開催 [担当：波照間永吉]

(3)伝統工芸部門

1. 沖縄染織の研究 [担当：柳 悦州教授]
  - a 日本民藝館所蔵沖縄染織品調査（8月、9月、12月）
2. 織物技法研究 [担当：柳 悦州教授]
  - a 腰機の復元と紋織りの研究

b 世界の織機と織物

3. 鎌倉芳太郎紅型型紙の画像データベース作成と研究 [担当：柳 悦州教授]
4. タイ・ラオス織物文化調査 [担当：柳 悦州教授]
5. 公開講座「特訓 カード織り講座」(全7回)

募集定員 12名 (受講者数9名)

期間：平成24年8月

基礎編 平成24年8月17日(金)、18日(土)、20日(月)

特訓編 平成24年8月24日(金)、25日(土)、27日(月)、28日(火)

時間：午前10時～午後4時

講師：基礎編 柳 悦州、助手 崎原 克友(本学助手)

特訓編 鳥丸 とも子

(織物研究者、東華大学中国紡織科学技術史専攻修了工学博士)

助手 崎原 克友(本学助手)

場 所 附属研究所小講堂

のべ参加人数：51名

(4)伝統芸能部門

1. 沖縄・奄美の民俗音楽の調査研究 [担当：久万田晋教授]
  - a 奄美大島の民俗音楽の調査研究 [9月]
  - b 沖縄本島全域のエイサーの調査研究 [7～9月]
2. 沖縄奄美の民俗音楽・芸能関係資料の収集 [担当：久万田晋教授・比嘉いずみ准教授]
3. 日本本土の音楽芸能文化の調査研究 [担当：久万田晋教授・高瀬澄子准教授]
  - a 高知県の民俗芸能の調査・資料収集 [7月]
  - b 鹿児島県の民俗芸能の調査・資料収集 [8月]
4. アジア諸地域の伝統音楽芸能の調査研究
  - a タイ国の音楽芸能の調査研究 [担当：久万田晋教授] [3月予定]
5. 文化講座

「沖縄からみた奄美文化」[担当：久万田晋教授] 2013年1～2月 全7回

第1回 1月10日(木) 講師：平良勝保(附属研究所共同研究員)

- 先島（宮古・八重山）からみた近世奄美の社会 受講人数：32名
- 第2回 1月17日（木）講師：西岡 敏（沖縄国際大学教授）  
琉球語学からみた奄美語・国頭語の特質 受講人数：33名
- 第3回 1月24日（木）講師：粟国恭子（附属研究所共同研究員）  
奄美の聖なるものと女たちの身体 - 祈りの形・絵図・写真 -  
受講人数：31名
- 第4回 1月31日（木）講師：渡久地健（琉球大学准教授）  
奄美の自然と田中一村作品 - 沖縄の絵画との比較を含めつつ  
受講人数：31名
- 第5回 2月7日（木）講師：豊見山和行（琉球大学教授）  
海運と越境にみる近世奄美・琉球関係史 受講人数：31名
- 第6回 2月14日（木）講師：久万田晋（附属研究所教授）  
奄美大島の祭祀と芸能 - 沖縄と比較しながら - 受講人数：34名
- 第7回 2月21日（木）講師：久万田晋（附属研究所教授）  
奄美諸島の祭祀と芸能 - 沖縄と比較しながら - 受講人数：37名
- 合計延べ人数229名

## Ⅱ 主要研究業績

### 1) 研究所員主要研究業績 (2012年1月～12月)

1. 著書・編書
2. 論文
3. 作品発表・公演
4. 研究発表
5. 解説等
6. 講演・放送
7. その他

### 2) 助成研究

1. 平成24年度において研究代表者、研究分担者となっている科学研究費研究  
a 研究代表者となっているもの b 研究分担者となっているもの
2. 沖縄県立芸術大学関連助成研究
3. その他

### (1) 研究所長

柳 悦州 (教授、専任教員)

- 1) 3. 「ヤシ紋様帯地」第86回(国展)国立美術館、東京、2012年5月
4. 「産業革命と染織」沖縄染織研究会、2012年12月14日
5. 「日本とラオスの腰機」国立民族学博物館特別展「世界の織機と織物」ミニレクチャー、大阪、2012年9月23日
6. 「特訓 カード織り」基礎編講師、附属研究所公開講座、2012年8月17～20日
6. 「沖縄の織り方でコースターを織ろう」国立民族学博物館特別展「世界の織機と織物」ワークショップ、大阪、2012年9月22日
6. 「紅型と芹沢銈介」大阪民藝館特別講演会、大阪、2012年11月11日
6. 「織遊び教室」講師、沖縄県立芸術大学移動大学 in たらま、2012年11月17～18日
7. 「日本民藝館展講評」民藝710号(日本民藝協会)、pp.18-19、2012年2月
7. ビエンチャン地域むしろ織り調査・学術協定協議、ラオス、2012年2月5～12日
7. ベルリン国立民族学博物館所蔵沖縄染織品調査、ドイツ、2012年2月18～28日

- 7. ポンサリー・ウドムサイ地域腰機調査、ラオス、2012年3月18～29日
- 7. 国展会国展工芸部監査、東京、2012年4月24～25日
- 7. 日本民藝館展審査と講評、日本民藝館、東京、2012年11月
- 7. 国立民族学博物館特別展「世界の織機と織物」実行委員
- 2) 1. b 基盤研究 (B) 「倉芳太郎資料の画像データベース構築・公開とその応用的研究」基盤研究 (B)、研究代表者：波照間永吉
- 2. 平成24年度沖縄県立芸術大学教育研究支援資金「移動大学を通じた地域貢献に関する研究」プロジェクトリーダー

## (2)芸術文化学部門

波照間永吉 (教授、専任教員)

波照間永吉 (教授・専任)

- 1) 1. 『沖縄の古謡』(CD 全8巻) (監修・編集・執筆) 沖縄県文化振興会  
平成24年3月24日
- 2. 「古琉球のチジウリ」『奄美沖縄 民間文芸学』第11号 平成24年3月26日
- 2. 「歌謡にみる古琉球の航海と祭祀」『琉球・沖縄の芸能 - その継承と世界へ拓く研究』平成24年3月31日 彩流社
- 2. 「久志地区の芸能の概要」『芸能 名護市史本編・8』pp.605～630 平成24年5月15日 名護市
- 2. 「家の祭儀と芸能」『芸能 名護市史本編・8』pp.924～933 平成24年5月15日 名護市
- 2. 「名護市のオモロ」『芸能 名護市史本編・8 資料編』pp.423～440 平成24年5月15日 名護市
- 2. 「用語解説」『芸能 名護市史本編・8』pp.962～972 平成24年5月15日 名護市
- 2. 「地域言語保存のために - 『竹富方言辞典』を例として - 」『沖縄タイムス』平成24年3月6日
- 2. 「追悼 前新 透先生」『琉球新報』平成24年4月12日
- 2. 「『竹富町史 第二巻 竹富島』」『沖縄タイムス』平成24年5月12日

2. 「追悼 高橋俊三先生」『沖縄タイムス』平成24年6月15日朝刊
2. 「『竹富町史 第三巻 小浜島』」『沖縄タイムス』平成24年8月12日
2. 「大田静男『とっばらーまの世界』」『沖縄タイムス』平成24年11月9日
2. 「祖先の魂“謡い鳴響まさ”」『沖縄古謡 謡い鳴響まさ』（パンフレット）平成24年11月11日
2. 「黒島精耕『ダートウーダー探訪の旅 - 小浜島民俗歌舞の源流をたどる - 』」『八重山毎日新聞』平成24年11月8日
2. 「小島瓊禮『歌三弦往来 - 三弦音楽の伝播と上方芸能の形成』」『沖縄文化』112号 平成24年11月15日 沖縄文化協会
2. 「外間守善先生を悼む」『琉球新報』平成24年11月23日
2. 「外間守善さんを悼む」『読売新聞』（西部版）平成24年12月1日
2. 「外間守善先生を偲ぶ - 先生の沖縄」『沖縄タイムス』「外間守善 人と研究」（上）平成24年12月3日
2. 「外間守善先生を偲ぶ」『毎日新聞』（全国版「悼む」欄）平成24年12月29日
4. 「おもろの中の浦添」市民歴史講演会 平成24年1月29日 浦添市ハーモニーセンター
4. 「八重山芸能で談ダン・島興し」（パネルディスカッション・コーディネーター）第3回沖縄 感性・文化産業シンポジウム in やいま 平成24年2月8日 石垣市民会館大ホール
4. 「謎からせまる『おもろさうし』」沖縄博物館友の会 文化講演会 平成24年3月16日 沖縄県立博物館・美術館3階講堂
4. 「鎌倉芳太郎 - 琉球芸術の美を求めて - 」沖縄県立芸術大学附属研究所 公開講座「沖縄文化の“美”の発見者たち」第11回 平成24年6月20日 沖縄県立芸術大学附属研究所3階小講堂
4. 「『竹富方言辞典』刊行の意義と辞典の活用方法」第5回テドゥンムニに親しむ集い 平成24年8月19日 沖縄県立博物館・美術館3階講堂
4. 「古琉球の人々が見た天体」星まつり記念講演会 平成24年8月26日 石垣 NPO プラザ
4. 「作田節の歌詞の解釈について」琉球舞踊伝承者講習会講話 平成24年

9月2日 沖縄市市民会館大ホール

4. 「鎌倉芳太郎と沖縄 - 鎌倉芳太郎の琉球芸術調査 -」 首里公民館講座  
平成24年10月14日 首里公民館
4. 「名護市のオモロ」 名護市教育委員会 “市史セミナー「名護市の芸能」”  
第2回オモロと芸能史 平成24年11月21日 名護市文化センター
4. 「『おもろさうし』と神歌主取」 那覇市文化協会琉球王朝禮楽部会主催王  
府おもろ伝承百年 - 講演と実演 - (基調講演) 2012年12月12日 沖縄県立  
博物館・美術館 3階講堂
4. 「この半世紀の琉球文学研究」 琉球大学国際沖縄研究所シンポジウム  
“沖縄学を問い直す” 平成24年8月11・12日 (於：那覇市。沖縄県立博物  
館・美術館)
6. 「おきなわ文化教室」 講師沖縄県立芸術大学移動大学 in たらま2012年11  
月17~18日
7. 「創作への意志 - 島袋君子先生の踊り -」 平成24年
7. 「喜舎場慶子さんの新しい旅立ち」 『喜舎場慶子芸歴45年記念独演会 虹  
綾の舞』 (パンフレット) 平成24年11月10日

安里 進 (教授、兼任教員)

- 1) 1. 『漆工辞典』 (共著) 漆工史学会編、角川学芸出版、2012年11月30日
4. 「近世琉球における測量技術の画期と首里古地図 - - 絵図の首里城正殿  
と焼物厨子の唐破風 - -」 琉球絵図・図像研究ゼミナー、琉球大学国際沖  
縄研究所中期計画達成プロジェクト、2012年1月7日、於沖縄県立博物館・  
美術館
6. 「琉球王国の工芸者たち 貝摺奉行所と漆芸」 沖縄県立芸術大学附属研  
究所文化講座「沖縄文化の“美”の発見者たち」第3回 2012年5月2日  
於附属研究所
- 2) 1. b 基盤研究 (B) 課題番号21320158 「近世実測図を活用した古地図 GIS  
解析法の構築」 (研究代表者：平井松午 徳島大学 )
3. 国立歴史民俗博物館共同研究 基幹研究 (総合研究) 「新しい古代国家  
像のための基礎研究」 (研究代表者広瀬和雄 国立歴史民族博物館教授 )

波平 八郎 (教授、兼任教員)

- 1) 5. 「プリントアート/テキスト」『版と言葉 - 版画集による国際交流展 - 』  
(「版と言葉展」プロジェクトチーム)
7. 認定看護管理者教育「セカンド・レベル」研修講師 (沖縄県看護協会)
7. 一般研修「小論文の書き方」講師 (沖縄県看護協会)
7. 「ディベート講座」研修講師 (沖縄県立中部病院)
- 2) 1. b 基盤研究 (B) 研究課題番号: 19320028 「鎌倉芳太郎資料の画像データベース構築・公開とその応用的研究」研究代表者: 波照間 永吉 (交付額: 1560千円)
1. b 基盤研究 (C) 研究課題番号: 22520146 「20世紀沖縄の芸術諸領域の文化論的研究」研究代表者: 久万田 晋 (交付額: 1040千円)

### (3)伝統工芸部門

島袋 常秀 (教授、兼任教員)

- 1) 3. 「鉄釉技絵草文皿」(12 やちむん展) 読谷村立美術館 2012年 2月
3. 「鉄釉技絵草文皿」(沖展) 浦添市民体育館 2012年 3月
3. 「月桃文技絵皿」(国展) 国立新美術館 2012年 4月
3. 「鉄釉技絵草文皿」他100点(個展) 池袋西武本店 2012年 8月
3. 「鉄絵草文皿」他50点(個展) 横浜そごう店 2012年 9月
3. 「赤絵草文皿」(沖縄民芸協会会員展) 沖縄タイムスギャラリー 2012年 10月

名護 朝和 (准教授、兼任教員)

- 1) 2. 共著「沖縄の伝統色に関する調査研究」 - 沖縄の色とは、その産業化を目指して - 沖縄県立芸術大学紀要 第20号2012年 3月
3. 型染掛軸作品「夏の終わり」(テキスタイルの未来形2012網走展) 網走市立美術館 2012年 3月
3. 染額装「痕跡」他5作品、琉球藍染ストール5点を加えて個展(名護朝和 型染展) ギャラリー猫亀屋 (大阪) 2012年 9月
3. 型染掛軸作品「痕跡」(新匠工芸会展) 東京都美術館2012年10月 京都

市美術館 別館2012年11月

4. 第421回博物館文化講座「紅型からのメッセージを解く」シンポジュームの講師（パネリスト）として参加・発表 沖縄県立博物館・美術館 講堂 2012年5月19日
6. 講演「紅型の未来と、私の作品制作」琉球びんがた事業共同組合主催 てんぷす那覇 2012年9月23日

#### (4)伝統芸能部門

久万田 晋（教授、専任教員）

- 1) 2. 「沖縄の民俗芸能の分類」（大会特別講座記録）『民俗音楽研究』第37号、pp.40-47、2012年3月
2. 「巻頭言 宮古クイチャーの新展開」『奄美沖縄民間文芸研究』第11号、pp.1-2、2012年3月
2. 「芸能の特徴3 獅子舞」名護市史編さん委員会編『名護市史本編・8 芸能』名護市役所、pp.847-851、2012年5月
2. 「芸能の特徴8 棒」名護市史編さん委員会編『名護市史本編・8 芸能』名護市役所、pp.896-903、2012年5月
2. 「芸能の特徴9 綱引き」名護市史編さん委員会編『名護市史本編・8 芸能』名護市役所、pp.904-905、2012年5月
2. 「芸能の特徴10 エイサー」名護市史編さん委員会編『名護市史本編・8 芸能』名護市役所、pp.906-913、2012年5月
2. 「近現代沖縄におけるポピュラー音楽の展開」『歴博』No.175（特集 沖縄 自然・開発・イメージ）、国立歴史民俗博物館、pp.12-15、2012年11月
4. 「日本復帰前の沖縄ジャズ音楽家の米軍基地内での活動」東洋音楽学会 沖縄支部第57回定例研究会、那覇市：沖縄県立芸術大学、2012年1月21日
4. 「奏でる平和：伝統芸能から考える平和」日本平和学会012年度春季研究大会部会4 奏でる平和、祈る平和：沖縄精神文化の平和創造力にふれる、那覇市：沖縄大学、2012年6月24日
4. 「沖縄の芸能・音楽研究の半世紀と今後の課題」シンポジウム「沖縄

- 学 を問い直す - 過去・現在・未来へ -」(2012年琉球大学国際沖縄研究所シンポジウム)、沖縄県立博物館・美術館、2012年8月11日
5. 司会・解説「矢沢朋子プロデュース コンサート&トーク・シリーズ第3弾 仏蘭西幻想奇譚~French Mystery~」2012年2月18日、宜野座村：がらまんホール
  5. 審査員「世界エイサー大会グランプリ予選・本選、ジュニア部門」、沖縄県立武道館、2012年10月6・7日
  5. 企画・司会「沖縄 JAZZ 協会復帰40周年記念クリスマス・コンサート」那覇市：那覇市民会館、2012年12月24日
  6. テレビ解説「全島青年エイサーまつり」(90分番組) 2012年9月30日、沖縄テレビ放送
  6. 講演「20世紀沖縄における民俗芸能の発展~エイサーを中心に~」法政大学沖縄文化研究所 総合講座・沖縄を考える、東京都千代田区：法政大学、2012年10月19日
  6. 講演「エイサー講座1 歴史」エイサーのまち沖縄市エイサー講座、沖縄市エイサー家(ミュージックタウン1F)、2012年11月27日・12月12日
  6. 講演「エイサー講座2 分類」エイサーのまち沖縄市エイサー講座、沖縄市エイサー家(ミュージックタウン1F)、2012年12月3日・12月19日
  7. シンポジウム記録「シンポジウム 故郷を演じる人々 コメント1」『民俗音楽研究』(日本民俗音楽学会)第37号、pp.35-36、2012年3月
  7. 専門部会委員(調査・執筆・校閲作業に関与)名護市史編さん委員会編『名護市史本編・8 芸能』、『名護市史本編・8 資料編』名護市役所、2012年5月15日
  7. 「与世山澄子ジャズライブ in 石垣島」『八重山毎日新聞』2012年6月7日9面
  7. 監修・問題作成「エイサー検定 3級 2級 1級 特級」沖縄市観光協会エイサー会館準備室、2012年8月~2013年3月
- 2) 1. a 基盤研究(C)「20世紀沖縄の芸術諸領域の文化論的研究」2012年度

交付額：80万円（直接経費）

1. b 基盤研究 (B) 「鎌倉芳太郎資料のデータベースの構築・公開とその応用的研究」研究代表者：波照間永吉（附属研究所教授）
1. b 基盤研究 (B) 「沖縄奄美民俗音楽資料のデジタル化と民俗音楽の変容に関する歴史的研究」研究代表者：金城厚（音楽学部教授）
1. b 基盤研究 (C) 「映像を用いた東南アジアのゴング文化の音楽人類学的研究」研究代表者：福岡正太（国立民族学博物館）

比嘉 いずみ（教授、兼任教員）

- 1) 3. 名護市文化協会主催「文化祭」（名護市民会館）2012年2月19日
3. 復帰40年沖縄国際シンポジウム「琉球芸能ワークショップ」（早稲田大学）2012年3月29日
3. NHK「沖縄の歌と踊り」のつどい（国立劇場おきなわ）2012年4月8日
3. 国立劇場おきなわ主催「うりづんの舞」（国立劇場おきなわ）2012年5月26日
3. 本土復帰40周年記念 平和推進公演 創作組踊「海鳴りの彼方」～対馬丸の子ら～（作者：大城立裕）（琉球新報ホール）2012年11月11日

高瀬 澄子（准教授、兼任教員）

- 1) 2. 「『管絃音義』に見られる図について」『ムーサ 沖縄県立芸術大学音楽学研究誌』第13号 2012年3月 pp.41-51
2. 「律呂図板をめぐって」『企画展示 楽器は語る - 紀州藩主徳川治宝と君子の楽 -』国立歴史民俗博物館 2012年7月 pp.132-136
5. 『企画展示 楽器は語る - 紀州藩主徳川治宝と君子の楽 -』国立歴史民俗博物館 2012年7月 目録番号8、9、10、11、116、118の解説を執筆
6. 報告4「日本で作られた律管」第83回歴博フォーラム「人・音・文化 - 紀州徳川家伝来楽器コレクションをめぐって -」国立歴史民俗博物館 2012年7月21日

7. 国立歴史民俗博物館企画展示「楽器は語る - 紀州藩主徳川治宝と君子の  
楽 -」展示プロジェクト委員

2) 1. a 基盤研究 (C) 課題番号：23520178 「『管絃音義』の研究」